

と も に

04

2017年
夏号

特集

むかえびと、ささえびと、つかさびと — ママと赤ちゃんに寄り添う産科 —



「むかえびと」とは大切な赤ちゃんをこの世に迎える人。
「ささえびと」とは妊娠、出産、育児を一番近くで支える人。
「つかさびと」とは母子とその家族、地域社会をつなぐ人。
これが、私たち、産科医と助産師の使命です。

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。



新米ママ

第一子を妊娠中。初めてのことが多く戸惑っているが、生まれてくる命のために奮闘中。

Q&Aで分かる

妊婦のお悩み相談

木村副師長

市民病院が誇るベテラン助産師。ママになる人たちの応援をしたいと思っている。



出産費用はどれくらいかかりますか？ また分娩予約が必要ですか？

出産費用はママにより変わります。当院ではおおそ初産婦さまは53万円(分娩後7日間入院)から、経産婦さまは48万円(分娩後6日間入院)からです。他の病院のように、分娩予約や予約金は必要ありません。



里帰り出産も受け入れていますか？

吹田市民病院では里帰り出産を多く受け入れています。親子2世、3世代を通じて市民病院で出産される方もたくさんいますよ(受診の方法は中面右ページの下部の囲み参照)。



夏に気をつけたほうが良いことってなんですか？

水分を多くとることを心がけましょう。妊娠中は体温が高くなり、汗をかきやすくなります。1日1.5リットルをめどに摂取するようにしましょう(冷水は避けましょう)。また、体の冷えは切迫流産につながることもあります。ソックスをはいて足首を、腹巻き着用でおなかを温めてください。冷たい食べ物よりも、野菜や肉などを煮込んだスープを食べることをお勧めします。



市民病院産科の特色

エキスパートがいるので安心

当院の助産師は経験年数7年以上が約9割で、日本助産評価機構が行う助産認定能力試験で認定された「アドバンス助産師」が17名います。また、全国で60名しかいない「母性看護専門看護師」というエキスパートも1名在籍しています。ママ一人一人の個性にあわせて、妊娠・分娩・子育てまでをサポートできる助産師です。



Information

平成30年度秋に市民病院は移転します



LDRイメージ



分娩室への移動などがなく負担が少ない

現在、病院がある吹田市片山町から、JR岸辺駅前にできる「北大阪健康医療都市(愛称:健都)」に移転します(平成30年度秋予定)。産科は陣痛から出産、退院するまで一貫して過ごせる部屋(LDR)や新生児病床などを新設する予定です。市民のための総合病院として、より高度な医療を提供いたします。

出産体験談



平成28年3月に第一子を出産した20代女性

陣痛が始まり、なんとか病院に駆けつけました。すぐに看護師さんがストレッチャーを持ってきてくれて安心しました。出産後の「御祝い膳」も豪華でおいしかったです。

平成29年1月に第一子を出産した20代女性

最初おっぱいがあまり出なかったのですが、マッサージしてもらって出るようになった時に助産師さんが一緒に喜んでくれて良かったです。

入院

出産後は母子同室です。快適な入院生活を送っていただけるようなお部屋をご用意。



出産

市民病院産科にはお産と赤ちゃんが好きな5名の医師(うち3名女性)と22名の助産師がそろっています。ご家族の思いを配慮し、可能な限り自然な出産を目指します。



初産ママも安心! 妊娠から産後まで総合サポート

市民病院の産科は現在までの分娩件数が2万2000件を超え、質の高い医療を日々提供しています。妊娠から出産、退院後の健診まで、一人一人のママに寄り添い、赤ちゃんの将来の健康まで見据えた温かな支援を心がけています。



特任副院長 西崎 孝道

スタッフ一同が一人一人の妊婦さまに細やかに寄り添うような対応をして、安心してお産いただけるように心がけています。



マザーズクラス

妊娠の基礎知識や呼吸法、リラックス法の練習、赤ちゃんの抱き方、おむつ交換などを体験できるマザーズクラス(全3回)を実施しています。初産婦の方にも安心できるように、分かりやすく説明します。



妊婦健診

定期健診を行い、血液検査や超音波検査などで胎児の成長を確認します。

市立吹田市民病院 産科受診の流れ

平日(月曜日～金曜日)午前8時30分～午前11時の間に外来受付をしてください。

※里帰り出産・紹介状をお持ちの方…ご予約をお取りできます。可能であれば20週目までに、遠方の方でも33週目までにお越しください。母子手帳は現在の居住地のものを持参ください。

電話：06-6387-3311 (平日13時～17時)

退院



温かみのある「はぐくみの部屋」で、ご家族や担当助産師と一緒に記念の一枚を撮影してください。



新しく始めました!

ははとこ健診(産後2週間健診)

産後2週間の母子を対象にした健診です。産後は心身ともに不安定になりやすいことから、助産師がじっくりと面談し、子育ての悩みなどをお聞きます。

市民病院 安心ポイント① 総合病院なので安心

合併症や疾患を持つ方は妊娠中に産科以外の診察を受けることができ、他診療科の医師や栄養士がバックアップします。また、社会的に支援を必要としている方へは保健センターや市役所と連携してサポートします。出産時も必要に応じて小児科医が立ち会います。

市民病院 安心ポイント② 出産後も手厚い支援で安心

出産後、赤ちゃんの抱き方から母乳が出にくい方への指導やマッサージを行っています。入院中に育児にしっかり慣れていただきます。また、早期出産や帝王切開となった場合は、小児科がフォローします。

産褥健診(産後1カ月健診)

産後1カ月のママと赤ちゃんの健康状態を調べるのが産褥健診です。また、これ以降もお子さまの月齢に関係なく、ご心配や不安がございましたらご相談ください。



新しい命を授かりました!

「妊娠したかも?」と思ったら、まずは外来を受診ください。